

ライトコントロールスイッチ LED照明対応形 調光範囲設定機能付

一部のLED照明器具では不安定動作する組合せがあります。施工前に弊社営業所にお問い合わせください。

正位相制御方式

【白熱灯および白熱灯用調光器対応形照明器具用】

JEC-BN-RLE5 PW
AC100V 500VA
¥13,500



消灯機能なし品もあります。

JEC-BN-RLE5N PW
¥13,500

※ライトコントロールだけではランプを消灯できません。電源を入切する外付けスイッチを併設してください。

逆位相制御方式

【白熱灯および白熱灯用調光器対応形照明器具用】

JEC-BN-RTE2 PW
AC100V 200VA
¥15,600



消灯機能なし品もあります。

JEC-BN-RTE2N PW
¥15,600

※ライトコントロールだけではランプを消灯できません。電源を入切する外付けスイッチを併設してください。

PWM信号制御方式

【PWM信号線式調光照明器具専用】

JEC-BN-RPWM1 PW
信号線出力 200mA
¥19,000



消灯機能なし品もあります。

JEC-BN-RPWM1N PW
¥19,000

※ライトコントロールだけではランプを消灯できません。電源を入切する外付けスイッチを併設してください。

Table with 3 columns: 定格容量 (5A), 回路構成 (Circuit diagram), 出力電圧波形 (Output voltage waveform).

Table with 3 columns: 定格容量 (2A), 回路構成 (Circuit diagram), 出力電圧波形 (Output voltage waveform).

Table with 2 columns: 定格容量 (15A), 回路構成 (Circuit diagram).

- 500Wまで※の高容量の照明器具に対応し、明るさを重視するリビング・ダイニングなど広い空間に適しています。
●多灯数の照明やハロゲンランプ・白熱灯の制御に適しています。
※)LED照明器具の場合、器具の突入電流の影響で接続灯数に制約を受ける場合があります。
※)低力率器具の場合、負荷電流 5Aが接続限度です。

- 調光器特有の「うなり音」がなく、照明器具の音も静穏化。シアター・オーディオルームや寝室に適しています。
●調光器を多回路接続した際に起こりがちな「電源干渉」による照明器具のチラツキが発生しにくく、低照度域の調光がスムーズに行えます。
●合計消費電流 2Aまでの照明器具に対応します。
※)初回電源投入時の注意事項があります。P.293調光上限自動設定機能についてをお読みください。

- 調光器から調光信号(PWM信号)を送り、器具側の電源ユニットで光源の明るさを制御する方式です。(電源線の2本に加え、調光信号線2本の配線が必要)
●照明器具の入力電源をスイッチングしないため、調光変化がスムーズです。
●照明器具の持つ調光範囲をフルに制御できます。
●1連ボックスに取付け可能。
※)ツマミを左に回すに限り、消灯対応出力(Duty比 約98%)になりますが、消灯機能を持たない照明器具の場合は消灯しません。照明器具の電源を入切りする外付けスイッチを別に設置してください。

仕様

Large table with 3 columns: JEC-BN-RLE5, JEC-BN-RTE2, JEC-BN-RPWM1. Includes specifications like voltage, current, load capacity, and lamp compatibility.

■使用上のご注意

- ツマミを右に回すと明るく、左に回すと暗くなり、左に回しきると消灯します。OFFの位置以外でもランプの種類により消灯しているように見えるものがありますが、ランプには電流が流れています。消灯するときは必ずツマミを左に回しきってください。
●ランプを交換する時や照明器具をお手入れする時は、分岐回路のブレーカを必ずOFF(切)にしてください。
●定格を超える負荷の使用や放熱障壁により本体内部が異常な温度に達すると、焼損防止の為内蔵のヒューズが溶断して使用不能になります。
●調光下限近くで負荷がチラツいたり、多灯接続にて負荷の点灯/消灯タイミングが揃わない場合は、調光範囲設定を行ってください。

■施工上のご注意

- 本製品の結線作業は分岐回路の配線用遮断器を必ず切ってから行ってください。
●ブレーカのトリップテストはライトコントロールスイッチを取付ける前に行ってください。
●電路の絶縁性能試験(メガテスト)は、あらかじめライトコントロールスイッチを回路から外して行ってください。
●ライトコントロールスイッチの負荷側にコンセントを施設しないでください。
●施工条件により最大負荷容量が変わります。資料ページ P.358表(1)を参考に負荷を減じて施設してください。

3 工事用配線器具